

八王子障害者団体連絡協議会 2018年度定期総会議案書

定期総会式次第および提出議案

1. 開 会
2. 代表の挨拶
3. 総会定足数の確認
4. 議長の選出
5. 書記の任命
6. 議事審議

第1号議案	2017年度 事業報告	2頁 ~ 6頁
第2号議案	2017年度 事業決算報告	7頁
第3号議案	2018年度 事業計画(案)	8頁 ~ 10頁
第4号議案	2018年度 事業予算(案)	11頁
第5号議案	2018年度 運営委員の選出(案)	12頁
7. 議長・書記の退任
8. 閉 会

開催日時：2018年 5月19日(土) 10:30~11:30
(開場 10:00)

会 場：八王子労政会館

■ 情勢など

いまや行政への市民参画・当事者参画への流れはあたりまえのものとなり、行政と八障連との関係も年々強化されてきました。

その一方、発足当初の運動体としての価値観は年々希薄となり、八障連も、障害当事者とその家族・支援者が作る小さなコミュニティーを志向するのではなく、障害の有無や福祉との関わりに関係なく、八王子に暮らす全ての人の理解と共感を得られるコミュニティーへの変革を求められているように感じます。

八障連の運営も、相変わらず試行錯誤の中にありながら、小さな歩みを積み重ねています。2017年の大きな動きとしては、市政 100 周年を迎えた八王子市の記念事業に八障連も実行委員として参画。関連イベントである NPO フェスタにも車いす体験のブースを設置し、市民への障害理解の促進に努めました。7 月には介護保険と総合福祉法統合問題に関する学習会を開催し、年度末に開催した福祉フォーラム(「DX(ディスレクシア)な日々 美んちゃんの場合」のバリアフリー字幕、バリアフリー活弁士による解説付き上映会)などは、多くの来場者に恵まれました。

今後も継続する主な課題としては、人手不足がもっとも大きな課題でしょうか。事業所は現場の忙しさ、当事者団体では後継者など人材不足がどこでもささやかれている現状ではありますが、是非、八障連の活動にも「人的」も含めたご協力をお願いできればと思います。そうした況の中で、八障連としての2017年度の活動を振り返り、ご報告いたします。

■ 加盟の状況

《退会》

NPO 法人 55の会 ぱすてる

カーサコム、ハウスコム(今後メゾンコムとして 1 つの事業所の登録となります)

みんなの家

さーくる南会

かまどっちゃ

■ 活動の概要

●NPO フェスティバル報告

5月27日、八王子駅北口、西放射線ユーロードにて開かれた、市制 100 周年記念イ

イベント「NPOフェスティバル」に参加してきました。

ドンキホーテの目の前にある三崎町公園を会場に、車いす乗車体験を実施しました。

八障連からは杉浦のほかに、鈴木房子さんとそのご主人、有賀さんにもご参加いただきました。車いすという道具は、肢体不自由の当事者には比較的身近なものですが、そうでない方にはどれだけ関心を持ってもらえるか不安でしたが…目標と30名と設定していたところ、26名の方にご来場いただきました。みなさん口々に「貴重な体験をした」と仰っていました。体験に使用した車いすはボランティアセンターからお借りしました。

●市民参加イベントの企画立案

障害のある人たちの社会参加や生活の様子を広く市民に知ってもらい、また障害者側も広く市民と触れ合うために市民参加イベントを企画しました。その最初の取り組みとして、学生を対象としたバリアフリー体験イベントを考えておりましたが、当初会場にと考えていた法政大学多摩キャンパスの学内施設の使用許可が得られず、また八障連としても代替企画の立案ができなかったことから、未開催に終わりました。

●運営委員会の開催

今年度も月1回のペースで運営委員会を行いました。毎回2時間前後で、平日の夜からの開催でした。参加者は約4名～6名程度と少なめであったことがやや残念ではありました。

・開催日は以下の通りです。

4/20 5/27 6/15 7/20 8/31 9/21 10/26 11/9 12/14 1/25 2/22
3/28

●情報の共有方法(八障連通信の定期発行・八障連ブログの定期更新)

新体制となって3年目である2017年も、八障連通信を情報発信のツールとして活用、月1回発行を堅持しました。八障連の主要な活動である「定期総会」、「障害福祉課との懇談会」、「八王子市議会議員との懇談会」、「福祉フォーラム」等について、事前に八障連通信を通して会員各位へ広報し、検討課題を明示して会員の意見をできる限り運営委員会に上げていただけるよう、速やかにレポートを掲載して報告いたしました。また、杉浦代表、鈴木副代表の当事者の視点からのコラムも定期的に掲載、好評を博しました。さらに小濱顧問の「闘病記」も連載を継続、八障連通信の「読ませるコラム」として定着しました。しかし、会員相互の交流という視点からは、各会員の現状など、通信を通して発信したとはいきれず、今後の課題として残りました。

その他八障連ブログでは、適宜ツイート情報を掲載して、通信、運営委員会議事録、催し等の記事掲載を行いました。また八障連通信331号より、南大沢音訊の会「こだま」のご協力をいただき、音声データもブログで提供しました。

■市議会全会派議員との懇談会を開催

2018年2月17日(土)、クリエイトホール展示室において、「八王子市議会議員との懇談会」を開催しました。

(出席議員)

小林信夫氏(公明党)、市川克宏氏・青柳有希子氏(共産党)、佐藤梓氏(社民党)、鳴海有理氏・前田桂子氏(生活者ネット)、陣内やすこ氏(無所属)、小林裕恵氏(諸派)、梶原幸子氏(自民党)の方々です(名簿順・かっこ内は所属会派)

八障連からは約20名の参加となりました。テーマとしては、以下の通り取り上げました。

- 1) 音響式信号機および変則的信号についての設置について/視覚障害者の立場から変則交差点にも音響式信号機を設置し、交通バリアフリーを実現したい
- 2) 介護保険への統合問題について(65歳以上の障害当事者が移行後に利用できるサービスへの不安点などを共有)
- 3) 富士森体育館ジム使用について(団体登録証では利用できないことへの課題点などを共有した)

以上の3項目について意見交換、情報共有を行い、参加議員より課題解決についての具体的な提案やアドバイスなど積極的なご意見を頂きました。

■会員相互の交流 学習会等への取り組み

(1) 学習会への取り組み

「介護保険と総合支援法統合問題に関する学習会」を2017年7月27日(木)18:30~21:00まで、クリエイトホール視聴覚室にて開催いたしました。

新年度になってから最初に開いたこの学習会では、ヒューマンケア協会代表、中西正司さんに、障害当事者が65歳を越えて「障害福祉サービス」から「介護保険サービス」に移行した場合、介護保険に移行した後、受けられるサービスの量や質が低下するという問題、さらには厚労省が進めようとしている社会福祉全般に渡る制度改革…『我が事』『丸ごと』の地域共生社会の実現…に向けた取り組みについてもお話をいただきました。

今後は当事者の声を抜きにして、「地域力強化」「公的サービス改革」「専門人材」といった3つのワーキンググループで議論が進められていくとのことで、中西さんも「障害、高齢、子どものすべてを支援するなんてやれるわけがない。専門性を軽く見ている」「専門的な支援が必要な人は福祉から排除されていく」「これまで積み上げてきた障害関係の法律の体系をすべて変えることになるが、本当にそんなことをやるのか」など、懸念を述べておられました。福祉部高齢者福祉課のご協力により、包括支援センター様に学習会の開催を周知したところ、たくさん的高齢者福祉の関係者にご参加をいただきました。今回の学習会

で共有された内容については、八障連としても一度きりのイベントで終わらせず、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

(2) 福祉フォーラム 2018 を開催

2018年3月17日に労政会館にて、「福祉フォーラム 2018」を開催いたしました。第一部にて『DX(ディスレクシア)な日々 美んちゃんの場合』を上映し、第二部にて映画に主演されている砂長美んさんのトークライブを行いました。

今年もバリアフリー上映という形で、字幕上映、パソコン筆記、手話通訳をつけ、今回は新たに活弁士(バリアフリー活弁士/檀鼓太郎さん)を依頼しました。上映中に、その内容を語りで表現(パフォーマンス)して解説するという、視覚障害のある方々へのものです。

映画『美んちゃんの場合』は、発達障害・学習障害の一種で、読み書きにつまずきや学習の困難をきたすディスレクシア(Dyslexia=難読症)を抱えて成人した・砂長美ん(砂長宏子)さんの日常を追ったドキュメンタリーです。

外見や知覚、聴覚には問題がないため周囲が障害を認識しづらく、発達障害そのものが一般的に知られる以前に子ども時代を送った美んさんは、周囲からバカにされ、勤め先もすぐにクビになるなど偏見や無理解に苦しみながら生きて来られたそうです。しかし、自分がディスレクシアだということを知り、同じ症状で苦しむ仲間がいることを知った美んさんは、ご自身の生き方を模索して、海外の大学で学ぶなど、いろんな経験を経て、現在に至り、現在では、一般社団法人ありがとうショップ(www.arigatoshop.jp)の代表などを通じて、障害者施設の商品の販売促進のアドバイザーや実際に国会内に店舗を構えたり、ヘアメイク事務所などもやられているそうです。今年の参加者はおよそ30人程で、すこし残念な人数となりました。次年度からは周知を含めて、ひと工夫が必要かと感じています。

■ 対「行政」への取り組み

(1) 「障害者福祉課との懇談会」の取り組み

障害者福祉課との懇談会において、前回からの引き続きの議題「生活保護申請の事前相談における対応と障害者の自立に関する認識の在り方について」・「放課後等デイサービスなど重度心身障害児(者)の状況について」は、市としての対応や重要度など課内で検討され、今後も検討・対策をしていかなければならない事であることを認識していることの確認をしました。その他にも「介護保険への統合問題」に触れるが、行政として打ち出されていない事には回答は難しいということで、改正の状況を把握しつつ、継続して取り組んでいくことが確認されました。(2017年11月17日八王子市役所本庁舎801.802会議室にて約30名が参加)

(2) 八王子市障害者地域自立支援協議会への参画

八王子市障害者地域自立支援協議会の全大会へ八障連として埴田顧問が参加し、

各 部 会 の 活 動 に つ い て 意 見 を 伝 え ま し た 。 ま た 冨 田 顧 問 は 運 営 会 議 へ も 参 加 し て お り 、 会 全 体 の 方 向 性 に つ い て も 八 障 連 と し て 参 画 し て い ま す 。 尚 、 会 員 団 体 か ら も 多 数 自 立 支 援 協 議 会 全 体 会 や 各 部 会 へ 参 加 し て い ま す 。

第 1 回 全 大 会 2017 年 4 月 18 日 (火)

第 2 階 全 大 会 2017 年 7 月 日 ()

第 3 回 全 大 会 2017 年 9 月 7 日 (木)

第 4 回 全 大 会 2017 年 11 月 14 日 (火)

第 5 回 全 大 会 2018 年 3 月 20 日 (火)

■ 各 種 委 員 の 推 薦 、 在 任 中 の 委 員 の 紹 介

八 王 子 市 お よ び 社 会 福 祉 協 議 会 の 各 種 委 員 会 に 以 下 の 方 々 が 参 画 し ま し た 。

- 八 王 子 市 地 域 公 共 交 通 活 性 化 協 議 会 委 員 に 、 八 障 連 顧 問 の 冨 田 靖 史 氏 が 在 任 中 で す 。
- 東 浅 川 ・ 南 大 沢 ・ 大 横 町 3 福 祉 セ ン タ ー 合 同 運 営 協 議 会 委 員 に ポ リ オ の 会 八 王 子 の 鈴 木 房 子 氏 を 推 薦 し 、 在 任 中 で す 。
- 三 多 摩 福 祉 有 償 運 送 運 営 協 議 会 委 員 に 、 ヒ ュ ー マ ン ケ ア 協 会 の 塚 田 芳 昭 氏 が 在 任 中 で す 。
- 八 王 子 市 障 害 者 地 域 自 立 支 援 協 議 会 ・ 権 利 擁 護 に 関 す る 調 整 委 員 会 委 員 に 、 八 障 連 顧 問 の 冨 田 靖 史 氏 が 在 任 し ま し た 。
- は ち お う じ 健 康 作 り 推 進 協 議 会 委 員 に 、 八 障 連 代 表 ・ N P O E - S M I L E 「 C O L O R S (カ ラ ー ズ) 」 の 杉 浦 貢 氏 在 任 中 で す 。
- 八 王 子 市 制 100 周 年 記 念 事 業 実 行 委 員 会 委 員 に 、 八 障 連 代 表 ・ N P O E - S M I L E 「 C O L O R S (カ ラ ー ズ) 」 の 杉 浦 貢 氏 を 推 薦 し 、 在 任 中 で す 。
- 八 王 子 市 社 会 福 祉 協 議 会 評 議 員 に 、 八 障 連 副 代 表 ・ ハ ー ネ ス 八 王 子 の 鈴 木 由 紀 子 氏 が 在 任 中 で す 。
- 八 王 子 市 社 会 福 祉 協 議 会 歳 末 助 け 合 い 募 金 配 分 検 討 委 員 に 、 八 障 連 顧 問 ・ 結 の 会 の 脇 田 泰 行 氏 が 在 任 中 で す 。
- 八 王 子 市 社 会 福 祉 協 議 会 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 協 議 会 委 員 に 、 八 障 連 代 表 ・ N P O E - S M I L E 「 C O L O R S (カ ラ ー ズ) 」 の 杉 浦 貢 氏 が 在 任 中 で す 。
- 八 王 子 市 障 害 者 地 域 自 立 支 援 協 議 会 委 員 お よ び 権 利 擁 護 に 関 す る 調 整 委 員 会 委 員 に 、 八 障 連 顧 問 の 冨 田 靖 史 氏 を 引 き 続 き 推 薦 し ま し た 。
- 八 王 子 市 社 会 福 祉 協 議 会 評 議 員 に 、 八 障 連 副 代 表 ・ ハ ー ネ ス 八 王 子 の 鈴 木 由 紀 子 氏 を 推 薦 し ま し た 。
- 八 王 子 市 障 害 福 祉 計 画 ・ 障 害 者 計 画 策 定 委 員 ・ 障 害 児 福 祉 計 画 委 員 に 八 障 連 代 表 ・ N P O E - S M I L E 「 C O L O R S (カ ラ ー ズ) 」 の 杉 浦 貢 氏 を 推 薦 し ま し た 。
- 市 営 交 通 駐 車 場 指 定 管 理 者 選 定 委 員 会 へ ヒ ュ ー マ ン ケ ア 協 会 の 八 幡 氏 が 在 任 中 で す 。

以 上 、 ご 報 告 致 し ま す 。

基本方針

八障連に加盟する団体も現在では市内に活動する障害者関係団体のほぼ8割が加盟しています。行政施策への当事者参画・市民参画の流れが急速に進んで、行政や関連機関との協力、協調体制の確立と維持が、八障連の活動の中で大きな割合を占めるようになりました。

今年度もこれまでと同様に、障害種別を超えたより幅広い視野を持つ総合的な組織体として活動していくことはもちろん、今年度は、日野市、調布市といった他市の協議会との交流、情報交換なども行っていきたいと考えています。

また、単に制度や法律の問題に止まらず、身近な問題や課題を積極的に取り上げ、その共有化と解決の道筋を共に考え行動して行きます。さらに、市行政との協働の要となる「障害者地域自立支援協議会」への参画を推進し、より広い視点での状況把握と迅速な対応に努めて行きます。

福祉フォーラム、行政・市議会議員との懇談会を大きな柱としつつ、誰もが地域に暮らす隣人として支え合い、共に安心して暮らし続けることの出来る地域社会の創造を、今年度も基本姿勢として行きます。

■加盟の状況

《年度当初会員数》

正会員 58 団体賛助 10 個人賛助 7

■活動の概要

●省力化を念頭に置いた運営の整理

毎月の運営委員会の開催が負担になっている、との声から、運営委員会を原則隔月開催とするものとし、福祉課懇談会、市議懇談会、福祉フォーラムの三つのイベントを大きな柱とした活動を行います。

その他の必要性を感じる事項として、障害者だけでなく高齢者サービスも対象とした共生型サービスを提供する事業者との交流や日野市、調布市など、他市の協議会との交流や情報交換などを計画いたします。また法改正後の加盟団体へのアンケート調査、新しい人材の確保などを行っていきたいと考えます。なお、福祉フォーラムについては他団体や、教育現場との連携開催などの意見が出ており、実施時期を2019年3月頃に予定しますが、内容や、周知の仕方、どのような対象者をイメージするかなど再検討を進めます。

●市民参加イベントの企画立案

今年度の開催は未定ですが、何らかの形で市民参加イベント開催の取り組みは続けていきたいと考えています。

●運営委員会の開催

2018年度は参加しやすい日の開催を考え、休日昼間の開催なども検討しています。年間の検討課題は以下の通りです。

*議案(年間予定案)

4月 総会準備	10月 運営委/福祉課懇談会
5月 総会	11月
6月	12月運営委
7月 運営委/改正後のアンケート	1月
8月	2月 運営委/議懇談会
9月 運営委	3月 運営委/福祉フォーラム

■情報の共有方法

(1)八障連通信の発行

2018年度も、会員相互の情報共有の手段として、月1回の発行を目指します。運営委員会の議論は、議事録で確認していただくとともに、八障連通信では、八障連の主要な年次活動について適宜レポートを掲載して報告し、検討課題などにも鋭く切り込む内容の提起を目指していきます。好評をいただいている定期コラムも、執筆者の協力を得ながら最大限掲載を継続するよう努めます。また新たな執筆者を発掘して、紙面の充実化もあわせて実現する方向性を模索します。

(2)インターネットでの情報発信

ブログ、ツイッターを使用して八障連通信、イベント告知など情報発信をしていきます。2018年度も、昨年同様、八障連活動・八王子における福祉関連のイベントに合わせて「つぶやき情報」を満載していきます。ぜひ今年も多くの方の来訪を期待します。

■「市議会議員との懇談会の開催」

今年度も引き続き、八王子市市議会議員の皆様にお声掛けして、地域の様々なテーマについて情報共有と意見交換を行っていきたくと思います。是非会員団体の皆様から話し合いたいテーマをあげていただければと思います。アンケート等も行う予定ですが、お気

軽に事務局までご連絡ください。開催時期としては今のところ 2019 年 2 月頃を予定しています。

■対「行政」への取り組み

(1)「八王子市障害者福祉課との懇談会」の取り組み

今年度各事業において単価改正があり、事業所によってはかなりの収入減少があると報告が上がっています。また、介護保険への統合に向け、受けられなくなるサービスなどが出てきているという意見も聞かれます。その中で「必要な支援とは何か」ということを、会員の皆様からご意見をいただき、サービスを受ける人にとって不利にならないために「どうすべきか」ということを考え、市へ提言していきたいと思えます。

(2)八王子市障害者地域自立支援協議会への参画

昨年度に引き続き、八王子市障害者地域自立支援協議会の全大会及び運営会議へ八障連として冨田顧問が参加を予定しています。30 年度は給付事業として就労定着支援、自立生活援助、共生型サービスなど新たな事業が開始されています。こうした変化の影響を注視しつつ、会員団体の皆様からもご意見などありましたら事務局までご連絡ください。

- 第 1 回全大会 2018 年 5 月 8 日(火)予定
- 第 2 階全大会 2018 年 7 月 23 日(月)予定
- 第 3 回全大会 2018 年 8 月 23 日(木)予定
- 第 4 回全大会 2018 年 11 月 5 日(月)予定
- 第 5 回全大会 2018 年 3 月 11 日(月)予定

■各種委員の推薦、在任中の委員の紹介

八王子市の各種委員会に以下の方を本年度新規に推薦しました。

- 権利擁護に関する調整委員会委員に新たに NPOCES の土居幸人氏を推薦しました。

以上、2018 年度事業計画としてご提案を致します。

第4号議案 2018年度 事業予算(案)

2018年4月1日～2019年3月31日

	科 目	予算額(円)	備 考	
収 入	年会費	647,000		
	賛助会費	51,000		
	寄付金	30,000		
	雑収入	3,000	物品販売手数料、利子等	
	合 計	731,000		
支 出	事務局 経費	人件費	204,000	役員手当
		情報保障費	10,000	手話通訳、音訳等
		通信委託費	120,000	通信発送作業、通信編集費
		印刷費	90,000	通信印刷代等
		送料	120,000	通信送料等
		通信費	42,000	携帯・プロバイダ料等
		使用料	3,000	会場使用料
		支払手数料	4,000	振込手数料
		消耗品費	1,000	事務用品等
		雑費	4,000	お茶代等
	計	598,000		
	事業 経費	バリアフリーイベント費	5,000	
		学習会・交流会費	10,000	講師謝礼、印刷代等
		福祉フォーラム費	150,000	講師謝礼、情報保障費、上映費用等
		計	165,000	
		予備費	10,000	
	合 計	773,000		
	当期事業収支差額		▲ 42,000	
	前年度繰越金		1,194,026	
次年度繰越金		1,152,026		

以上の通り提案いたします。

2018年 5月 19日

八王子障害者団体連絡協議会 代表 杉浦 貢

第5号議案 2018年度 運営委員等人事(案)

1, 運営委員

有賀 豊	(社会福祉法人 マインドはちおうじ・リサイクルわかくさ)
池谷 匠	(八王子市地域腎友会)
後藤 厚	(社会福祉法人 マインドはちおうじ・リサイクルわかくさ)
杉浦 貢	(NPO E-SMILE・COLORS=カラーズ)
鈴木 由紀子	(ハーネス八王子)
立川 伸吾	(NPO わかくさ福祉会・プレワーク)
土居 幸仁	(NPOCES・八王子生活館)
松岡 都	(NPO 多摩草むらの会・夢来)
渡辺 智子	(NPO ほっとスペース八王子)

以上 9名

2, 役員

代表	杉浦 貢(NPO E-SMILE・COLORS=カラーズ)
副代表	鈴木 由紀子(ハーネス八王子)
事務局長	有賀 豊(社会福祉法人 マインドはちおうじ・リサイクルわかくさ)
事務局長補佐	立川 伸吾(NPO わかくさ福祉会・プレワーク)
会計	土居 幸仁 (NPOCES・八王子生活館)

3. 監事・顧問

監事	清水 栄 (株)プレアデス代表取締役:個人賛助会員)
顧問	笏田 靖史(NPO 八王子パオの会・パオ)
	脇田 泰行(NPO 結の会・らいふ結)
	小濱 義久(NPO 八王子パオの会・パオ)

以上、ご提案を致します。